



スキー協通信

No.418

発行
2019.8.1

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144
ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org
ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）
00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）
広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

発行責任者
出崎福男

東京都勤労者スキー協議会 第52回定期総会 2019/6/16

昨期は足場を固め、今期は前進の年に!!



6月16日(日)、池袋の帝京平成大学キャンパス内集会室で東京スキー協第52回定期総会が開催され、27クラブから延べ70名(役員32名、代議員32名、オブザーバー6名)が出席しました。採決時の出席は役員+代議員数が59名でした。

51期活動報告では、昨年9月に改訂された全国スキー協スキー教程の普及やスキーセミナーの参加者が多かったことなど技術の普及面で前進があり、行事収入での予算達成やクラブ・個人からのカンパ、事務所縮小による家賃負担減により財政的には単年度黒字となったことが特徴でした。しかし、組織的には26名の会員減であったことが強調されました。これを受け52期方針案では、会員拡大と、クラブ・スキー協としてスノースポーツの「多様性と専門性」を広げることが提起されました。具体的には、会員拡大の取り組み経験交流会や3月に東京スキー協主催行事を開催することが提案されました。

参加者からの発言では、会員を増やす上で自治体など外部へ働きかけ続けることの大切さや、シーズンオフの行事も含め、スキーをすること以外の楽しさも味わえる行事を行うことで、会員の様々な要求に応じていけることが語られました。また、比較的人数の多いクラブで、高齢化にともない多くの行事をバス利用に変更した、という報告があったことも特徴でした。(理事長 出崎福男)

目次

第52回定期総会報告／スキーセミナーのお知らせ	2-4頁
52期行事日程	5頁
部局・委員会からのお知らせ／8・9月のカレンダー	6頁

来賓、会長の挨拶

小林章子さん

(新日本スポーツ連盟 東京都連盟理事長)

第52回定期総会開催、おめでとうございます。昨年全国スキー協が50周年の行事を見事に成功させました。東京スキー協も50周年を機に、歴史をふり返ったことと思います。東京スキー協は最初の新体連の結成、都連盟の結成に大きなエネルギーを注ぎ、情熱を持ってけん引役を担ってきました。今の経済情勢のなか、お金もないし自由な時間もないのは不幸なことです。スポーツができる自由な時間がある社会が恵まれた社会と言えます。東京都と国のスポーツ振興計画は健康志向です。ウォーキングやジム通い、通勤で階段を使うなど、介護保険を使わない生活を目指しましょう。

豊かな生活をおくる基本は、私たちが輝けるスポーツをする機会をいかに広げるかだと思います。忌憚のない議論で、一步前進していただきたく、ご挨拶とします。

市川正幸 東京スキー協会会長

東京スキー協のクラブが今31クラブ、50クラブを目指してがんばってきました。クラブの衰退、クラブ員の退会が進み、現在500名を切ってしまう、このままだまっていっていいのかということはこの総会で確認してもらって、スキー協とクラブの発展について論議してもらいたい。とくにスキーをする条件として、雪不足、また仕事でなかなかスキーに行けないなど、今の政治情勢と切っても切れない状況。この夏、参議院選挙もあります。我々がスキーを楽しめる条件を勝ち取るにはどうしたらよいかをぜひ考えてほしいと思います。

小川 洋 全国スキー協理事長

全国スキー協は今年3月、50周年ウィークではキューピッドバレイに10日間滞在してイベントを行いました。2年半前から計画して、記念ウェア、記念スキー板の販売、50周年ウィーク、記念誌の発行

などをやってきてやっとひと段落ついた状態です。会員の高齢化、とよく言われますが、高齢化が問題ではない、高齢化に対応する運動ができていないことに問題があるのではないかと。高齢化を止めることはできないので、どうやってクラブで乗り越えていくか考えていくことが大事であり、よりいっそう発展していけるよう私自身もがんばっていきたくと思います。来年6月に全国の定期総会を迎えます。それに向けて組織的なご協力をお願いしたいと思います。今日は熱い議論ができることを期待いたします。



スキー協の運営に関する発言

田畑 健さん (こなゆき)

私は83.5歳になる。発言のテーマは「高齢会員よ、がんばろう」ということ。議案書を見ると、技術の普及、研究はうまくいっているようだが、組織の維持、拡大がうまくいっていない。組織を拡大することに力を入れなければいけないと思う。高齢というのは、私が思うに90になってから。ある高齢会員がスキーも山登りもできなくなって、クラブの長老の杉村雄一さんに相談したところ、スキー協は会員が減って大変だから一年でもいいから続けて財政だけでいいから支援しろ、と言われたそうで、やっぱり杉村さんはえらいなと思った。競技もやっている杉村さんのように、高齢会員も気概を持たなければならぬと思う。

近年子どもにスキーを教えているが、今の子どもたちが社会人になったとき、大学時の教育ローンで何百万も借金を背負って社会に出るのが普通だそう。こんな世の中ではスキー人口は増えない。非正規の社員が38パーセントにもなり、年収200万円の人が75パーセントでは、とてもスキーはできない。それがずっと続くんじゃないか。参議院選では、野党共闘で共通政策が13項目で合意している。憲法、原発の問題、格差是正、公営住宅の拡充、8時間働けば暮らせるルールなど。若者がスキー



一を楽しむことができる世の中をつくらなければならぬ。

スキー協は都連盟に納める家賃を負けてもらっているのが現実。専用のスポーツ会館をつくらうじゃないか。ここにいらっしゃるかた、全国のスポーツ連盟の会員に呼びかけて、死ぬ前に、遺産をスポーツ連盟に寄付をすると、遺書を書いてほしい。法人格にして、遺産の一部を受け入れる体制を整えて、会員有志のかたが遺産を融資すればスポーツ会館はできると思う。ぜひよろしくお願ひしたい。

藤井一雄さん (エーデルヴァイス)

理事になって3年だがいつも思うことがある。カンパや家賃の減額などで対応しているが、あと70万から100万増収がないとスキー協の維持は難しい。会員拡大だけでは無理で、具体的にいえば行事収入しかないと思う。資料を見ると、競技スキー委員会は20万以上あげていて、私もかぐらのフリーレッスンに参加させてもらっている。全日本チャンピオンに教えてもらうなどほんとにすごいと思う。各クラブがスキー協が必要なんだと思ひを持って、年に1回ぐらいはスキー協の行事に参加して行事収入を増やすことが、今考えられる手段ではないかと思う。各クラブにスキー協の行事参加を今一度見直してほしい。

長谷川仁さん (シュプール)



クラブでは上級指導員が1人、中級が5人、初級が8人全部で指導員が14名おり、自分のクラブでなんでも間に合ってしまう。それで会員は満足してしまっているのではないかと。最近、それでいいのか

かと思ひている。他のクラブとの連携を強め、つながりを多く持つためにもう少し工夫が必要なのかな、と考えている。

もうひとつは指導員について。年齢的な問題で指導員の退会がとても多いとのこと。指導員受検で部分的な合格はあっても、途中であきらめて挑戦をやめたり、糸が切れたように会員をやめてしまったりするのは組織全体にとっても残念なこと。一部合格の人たちを準指導員のようなかたちで残すことはできないだろうか。将来的なこととして、なにかの機会に考えてみてほしい。

クラブ運営に関する発言

小柳光雄さん (モルゲンローテ)



クラブ合同のスキークラブを、ということで、今年野沢温泉で中型バスで行事を行ない、なんとか赤字を出さずに開催できた。ホームページに情報を載せてもらったのがありがたかった。自分のクラブ

から9名、兄弟クラブと他のクラブから10名、スキー協会員以外でも3名の参加がありとてもよかった。30代の女性の新規加入もあり、7月のクラブの総会にも参加する予定。バスツアーをやるといろいろな意味で交流が深まるので、ぜひ他のクラブの方もご参加を。兄弟クラブと力を合わせて、もっともっと交流を続けていければと思う。ホームページや通信にも報告記事載せてもらった。そういう形でぜひどんどんお互いのよいところを宣伝してもらいたい。

上林幹雄さん (エーデルヴァイス)

耳が遠くなり、これも高齢化のひとつかなと思う。先ほどからマイクがあれば、これも高齢化対策になるかなと考えていた。高齢化の問題、若い人の参加が減少している。あたらしい



教程がたくさん売れたという話があったが、そんななかで教程とは関係なく、友達の友達と一緒に行事に参加する、楽しそうだ、ということが大事ではないか。休部されている方、体力的にスキーができなくなったり、時間的、金銭的に難しい人がいるので、シーズンオフも楽しい行事を行うということが大事かなと思う。ゲレンデの雰囲気を楽しむ、ゆっくり休んでスキーの雰囲気を楽しむ、そんなふうに行事を見直してみてもいいのかなと思う。

本多賜代さん (シーハイル)



4月のクラブ最後の行事で、雪もよくないので奥志賀のグランフェニックスに行って食事やショッピングを楽しんだ。あと携帯で天候がすぐわかるので、悪天候の予報の時は、スキーをしないでショ

ツピングや帰り道の温泉などに計画を変えてみる。スキーばかりじゃなくて、いつも通り過ぎるお店とかもちょっと寄り道するのもいいなと思う。オフシーズンは近郊の低山や、百名山も毎年一つは登ったりしている。スキー場のリフトを使った百名山もけっこうあるので、登山に慣れない人でも気軽に登れる。オフシーズンはそれなりに楽しんでいる。

中里隆太郎さん（てんとおむし）

私たちは会員は増やすものではなく、増えるものと思っている。創立から十数年、会員が減ったことはない。初参加の人の感想は「みんないい人たちだね」、「このクラブに入るとうまくなれそう」、「参加費が安い」など。去年行事に参加した女性が、SAJの講習にも参加しているが、そんなにうまくない。気合をいれて講習をやった。SAJやSIAに負けられないようにするには、彼らよりうまくしてやるんだ、ということは非常に重要だと思う。指導法の改善をするために、一日中講習をするのではなく、午後は指導員同士で講習をして、お互いの得意分野を教え合う。スキーでケガをしないストレッチや、



夜の交流会では、指導員がえらそうに話すのではなく、みなさんの意見をじっくり聞いている。東京の受験者は少ないと思うが、働いている人でも受験できる方法を考える必要があるのではないかな。

東京スキー協運営の担当者から

市川会長

東京スキー協 2019スキーセミナー

スノースポーツを多面的に学び元気にシーズンを迎えよう！

- ◆2019年9月8日(日) 13:30~16:50(13:15 開場)
- ◆会場：としま産業振興プラザ(IKE・Biz) 6階 多目的ホール ◆参加費 1,700円(当日 2,000円)

「スキー教師として、スキースクールとして、レッスンをを行う上で大切にしていること」

「年配者のスキー指導について」 --- 公益社団法人日本プロスキー教師協会

キタムラスノースポーツスクール校長 北村 芳則さん

「改訂教程 1 シーズンの検証から」 --- 全国スキー協 技術教育局長 荻原 正治さん

「指導員の役割・権利・義務、指導とは、スキーの安全について」 --- 東京スキー協 教育技術局長

福島 明さん

スマホ、タブレットでQRコードから申し込みできます。パソコンからはURLから申し込みできます。こちらから詳細を確認して、お申し込みください。

<http://www.tokyoskikyo.org/topics/2019bira/20190908.pdf>

昨年の交流駅伝&BBQでは、約70名近い参加者が交流した。スキーのシーズンのお誘いなど、この機会に持ち寄って、クラブに情報を持ち帰って、多くの会員が参加できる状況を作ってほしい。

福島副会長（教育技術局）

昨シーズンは、スキーセミナー、テクニカルフェスタの参加者、改訂スキー教程の普及数は過去最高の数字になった。これらはなぜできたのか。大事なことは、早い取り組みと宣伝、会員の要求とスキー協の取り組みがマッチしていること、それに対しクラブが積極的に取り組んできたことが大きい。電子申し込みも取り入れた。引き続き経験を活かしてやっていきたい。

小川副会長（みなとしゅぷーる）

3月の全国スキー協の50周年ウィークでは、様々なスキーだけではなく、子どもたちの運動会、雪だるまコンテスト、大人も交じってのそりレースなども楽しんでもらった。多様性、専門性を追求する一方で、「滑らない行事」、雪合戦とか雪の上のバーベキュー、雪の上でいろんなイベントをやってもいいと思う。高齢化ということを考えると、温泉に入っておいしいものを食べて、昼はちょこっとスキーをするというのもいい。好評だった花火大会、できれば東京スキー協でもやってみたい。

以上、発言より抜粋

※全発言をお読みになりたいかたは、広報局にメールでお知らせいただければお送りします。

skikyo_koho@yahoo.co.jp

5 2 期行事日程

2019年7月30日

日 付	東 京	全国・その他
7月13日		東京反核平和マラソン
7月13～14日	乗鞍担ぎ上げサマーレーシングキャンプ	乗鞍サマーレーシングキャンプ(13～15日)
7月28日	第2回理事会 13:00～	
8月31日		関東ブロック技術部会
9月 7～ 8日		全国山スキー部会
9月 8日午前	技術部会	
9月 8日午後	スキーセミナー	
9月12日	指導員受験説明会	
9月15日		全国競技部会(東京・池袋スキー協事務所)
9月 or 10月	プラスノー講習会(丸沼高原)	
10月10日	第3回理事会	
10月12日	関東ブロック初級・中級指導員養成理論、兼研修理論	
10月19日	指導員ミーティング	
10月27日	第27回クラブ交流平和駅伝 & 交流バーベキュー(案)	
11月 8日	山スキーのつどい	
11月 9～10日		全国理事会
11月17日	指導員養成レベルアップ講座・座学1	
11月24日	山スキー講座	
11月30～12月1日		全国技術部会(志賀高原)
12月 7～ 8日		中央研修会(志賀高原)
12月12日	第4回理事会	
12月14～15日	シーズンインきゃんぷ	
12月14～15日	関東ブロック初・中級指導員養成実技	山スキーリーダー研修会・指導員研修会・レベルアップ
12月20～22日	テクニカルフェスタ/第1回指導員研修会(基礎・応用)	
12月20～22日	指導員養成レベルアップ(教程の本質理解講座)	
12月30～1月2日	越年ファミリースキー	
1月		山スキーリーダー養成実技・研修会・深雪講習会
1月11～12日		スノーボードフェスタ&研修
1月11～13日	かたしなレーシングキャンプ	
1月18～19日	第2回指導員研修会/指導員養成レベルアップ(小回り)	
1月18～19日	かぐら山スキー教室	
1月22日	指導員養成レベルアップ講座・座学2	
1月25～26日	舞子GSポールトレーニング	
1月31日	第44回東京競技大会前日練習会	
2月 1～ 2日	第44回東京競技大会	
2月 8～ 9日	湯の丸高原山スキー教室	
2月 8～ 9日		スノーボードクリニック
2月15～16日	石打花岡SL練習会+記録会	
2月29～3月1日		第46回全国競技大会(戸狩)
3月 7～ 8日		スキー協カップスーパーG(キュービットバレイ)
3月 7～ 8日		スノーボードファイナルフェスタ・スノーボード部指導員検定会
3月14～15日	春のテクニカルフェスタ	
3月14～15日	関東ブロック初・中急指導員検定会	
3月14～15日	乗鞍高原山スキー教室	
3月21～22日		第9回STC & 第18回デモ選(志賀高原)
3月26日	第5回理事会	
3月28～29日	技術部会(雪上キャンプ)	
4月11～12日		全国技術部会(志賀高原)
4月 ~ 日	競技スキー委員会行事(調整中)	
4月18日	指導員・山スキーリーダー合格を祝う会	
4月21～22日	平日スペシャルキャンプ	
4月 ~ 日		セッター研修会(野沢温泉)
5月 2～ 5日	八甲田山山スキー教室	
5月 3～ 5日	鳥海山山スキー教室	
5月 9～10日	かぐらスプリングフリーレッスン	
5月14日	第6回理事会	
5月22～24日	立山・剣沢山スキー教室	
5月23日		関東ブロック技術部会
5月30日	指導員ミーティング	
6月13～14日		全国スキー協定期総会
6月21日	第53回定期総会	

注) 第52回定期総会時の日程(案)からの変更があります。

黄:養成・研修/緑:山スキー行事/青:大会・競技スキー委員会行事

第52期東京スキー協 会員登録のご依頼

第52回定期総会は盛会のうちに終了し、活動が本格化する時期になりました。今年度の会員登録の手続きをお願いいたします。クラブ代表者、または事務局事務担当者あてに郵送やメールでご案内しておりますので、8月20日までにお手続き願います。なにとぞ早期の手続きをよろしくお願い申し上げます。

会員登録名簿の提出、会費の納入、担当者カードの提出

※2018年6月以降に新規の入会がありましたら、「新入会員報告用紙」を提出願います。

2019平和駅伝&交流BBQ

2019年10月27日(日) (締め切り10月11日(金))

駅伝：小金井公園北口広場 9時受付・9時半開会

BBQ：ユーカリ広場・BBQショップ前 13時スタート

実行委員を募集しています。案内を本通信の郵送に同封します。

競技スキー委員会 52期 行事日程のお知らせ

初めてのかた、学生のかたには割り引きがあります お待ちしています！

- 2019 12/14-15 シーズンいんキャンプ※
- 2020 1/25-26 舞子GSポールレッスン
- 2020 2/15-16 石打花岡SL練習会&記録会
- 2020 4月 調整中
- 2020 4/21-22 平日スペシャルレッスン(火・水曜日)※
- 2020 5/9-10 かぐらスプリングフリーレッスン※

※印は、ポールを使わないレッスンです。競技志向でないかたも歓迎します。

8・9月のカレンダー

8月	行事名	9月	行事名
8/1(木)	常任理事会	9/7-8(土日)	全国山スキー部会
8/20(火)	会員登録、公認資格者登録締め切り	9/5(木)	常任理事会
8/27(火)	通信発行	9/8(日)	東京技術部会
8/31(土)	関東B技術部会	9/8(日)	東京スキーセミナー
		9/12(木)	指導員受検説明会
		9/15(日)	全国競技部会
		9/18(水)	広報局会議
		9/30(月)	通信発行

編集後記 エビノシッポ

総会が終わり、第1回の理事会で新役員が選出され新たなスタートです。会員の減少、予算の問題等、いろいろなことをクリアしながら、スキー協活動はこれからも続きます。会員のみなさんの協力は必須です。お互い協力しながらスキー協を盛り上げていきたいものです。(平井光子)